



NPO PTPL “ともいき” 便り No.96

平成 28 年 (2016 年) 3 月 20 日発行

■春分 3月20日から4月3日までの節気

いつも愛犬と散歩する遊歩道には、雪柳やミモザが満開です。コブシも毛皮を脱ぎ捨てて、白い姿を見せてくれています。みなさまのお住まいのところは、いかがですか。花が次々に咲いて、春到来。「春分」の節気に入りました。

3月20日は彼岸の中日です。お墓まいりに行かれる方も多いことと思います。気候の良いこのころ、此岸(しがん、現世)から、仏の世界である彼岸(ひがん、来世)に極来往生することを祈願するとともに、この期間にお墓参りをして、死者の来世における安楽を祈り、霊を慰めます。春の彼岸の頃には「こぶし」や「もくれん」が咲いて、桜の開花も間近になり、春の気がみなぎってきます。

(ともいき暦 <http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>)

3月8日、とても暖かな日に義理の母が亡くなりました。98歳でした。いくつもの戦争や災害を体験し、4人の子どもを育てあげました。「自分」のためではなく、「家族」のために生きた人でした。危篤の連絡をうけたのは、夜9時半ごろ。駅から家へ帰る途中でした。電話をうけたとき、沈丁花が一つんと強くにおったのを覚えています。きっと、沈丁花の香りがかぐたびに、この日のことがよみがえるのだらうなと思います。葬儀は家族葬でおこないました。家から出棺するとき、参列者全員で義母が好きだった「朧月夜」を歌いました。

花屋さんで、桜を買いました。つぼみがたくさんついているのですが、部屋に飾ってあるのでどんどん咲いています。今年の桜の開花予想は、日本気象協会によりますと、九州は平年並みか平年より遅く、そのほかの地域では、平年並みか平年より早い見込みだそうです。21日ごろには東京(千代田区)と愛媛県宇和島から桜前線が動き始めるようです。なんだかワクワクしますね。桜前線が津軽海峡を渡るのは4月末、ゴールデンウィークのころでしょうか。

和菓子屋さんにも、桜の和菓子が並んでいます。桜餅、花見だんごもよいのですが、それぞれのお店の職人さんが考えた「桜」もなかなかすてきです。私がよく行く和菓子屋さんでは、桜の花びらが2まい、ふわりとかさなりあっている姿をしていて、中にはこしあんがはいっています。名前は「桜花」。和菓子屋さんのウィンドウでお花見、というのも楽しいです。

次の節気は「清明」です。私がパーソナリティーをつとめている「サードプレイス すとうあさえのともいき暦」も2年目に入ります。まだまだマイクの前で話すのは苦手ですが、季節の行事や俳句、旬の食材などの話題の他に、季節の童話や絵本、歌なども紹介していきます。聴いていただけたら嬉しいです。

(サードプレイス www.jfn.jp/RadioShows/place)

では、春分の季節。みなさま、お健やかに過ごしてください。

すとう あさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■ともいき・ともうみ・ともさち雑感彼は

桜、日本人の心の花。その2

前号では私の自宅近くの公園で河津桜が満開のお話をしました。その続きをお話しします。

3月上旬、家の近くの公園のカンヒザクラ（中国・台湾産）が咲き始めました。来週の末には見ごろになることでしょう。

カンヒザクラの咲き方は釣鐘状に花は満開にならず半開き、しかも下向きに咲いています。

同じ桜とはいえ花の色、形、咲き方などが随分違うものですね。

3月中旬、カンヒザクラは見頃になり、河津桜は葉桜へ。

よくよく眺めると、カンヒザクラの真紅の色は桜の中にあって、日本の赤みの薄い赤紫とは段違いです。

（カンヒザクラの真紅の色は赤紅（あかべに）色、あるいは深紅（こきくれない）色というそうです。

河津桜は満開の花を散らし始め葉桜へと移る途中です。このような桜も風情がありますね。

カンヒザクラの見頃が終わるとサ〜っと散ってしまうのでしょうか。どうなるか興味が湧きます。

このように、私の自宅の近所でも、2月はじめから4月初めまで、いろいろな桜が楽しめます。

桜前線も北上し、3月末のソメイヨシノの開花とともに日本の至るところが桜の名所になりますね。



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局だより

- 今回お届けする「ともいき便り No96 春分号」でスタートしてから丸4年が経ちました。ここまで続きましたのも、皆さまのご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

今後も、季節の移り変わりを楽しんでいただける読み物としてお届けいたします。

●春の彼岸

今年の春の彼岸の期間は3月17日(木)が「彼岸の入り」、3月20日(日)が「彼岸の中日(秋分の日)」、3月23日(水)が「彼岸の明け」となります。彼岸の中日である春分の日は、「昼夜等分の日」ともいわれる事があります。仏教の中道の精神の象徴として昼夜の長さが同じとなる日を彼岸の真ん中に据えられています。

「暑さ寒さも彼岸まで」、待ちに待った春の到来です。

●花見

東京には桜の名所がたくさんあります。代表的なものでは上野公園、千鳥ヶ淵公園、墨田公園、飛鳥山公園・・・などなど。

大規模の桜並木は壮観で、あたり一帯が薄ピンク入りに染まった下を多くの花見客が楽しんでいる様子は、日本ならではの光景ですが、近年、私は人知れず小さな公園に一本の桜の木がある場所が好きになりました。今年も、そのような場所を探し、ゆっくりと花見を楽しみたいと思っています。

●会員募集のご案内

NPO活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPLでは、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAXにてお尋ねください。

●本文にもありますように、「JFN サードプレイス すとうあさえのともいき曆」が2年目に入ります。

ぜひとも、お時間があればお聴きください。

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階

電話：03-6205-7503 FAX：03-6205-7504

Email：info@ptpl.or.jp